

2026年3月4日
株式会社 毎日放送

第1回「関西アナウンス大賞」 川地 洋平(かわち ようへい)アナウンサー テレビ部門で大賞受賞



関西全体のアナウンス技術と放送文化のさらなる発展を目指す目的として、新たに創設された「関西アナウンス大賞」にて、川地洋平アナウンサーがテレビ部門で大賞を受賞いたしました。

■第1回「関西アナウンス大賞」 テレビ部門 大賞

受賞者名: 株式会社毎日放送 川地洋平

作品名: 「よんちゃんTV 特別編 大阪・関西万博に行きたくなるよん SP」
(ヘリ生中継レポート)

放送日: 2025年4月13日(日)

4月13日、万博開幕特番。当日も雨が降り、「大丈夫か?」という雰囲気の中、川地アナウンサーが、その複雑な空気感を十分に理解した上で、「万博」への静かな熱をベースに忍ばせ、スポーツアナウンサーとしてのスキルをいかんなく発揮して、3分半のヘリレポートに集約させました。

■川地洋平アナウンサーコメント

入社前から仕事がしたいと思っていた大阪・関西万博の現場、しかも開幕当日の放送での受賞、大変光栄です。開幕当日、上空 400m から見る夢洲の雰囲気を丁寧に臨場感を持って伝えること。自分が20年前に 愛・地球博で抱いた気持ちを大切に、今回の万博への想いを素直に届けられたと思います。今後も大好きなスポーツや、ひとつひとつの仕事に丁寧に向き合い、言葉を紡いでいきます。ありがとうございました。

■川地洋平(かわちようへい)

愛知県出身、入社6年目、28 歳。『よんちゃん TV』(午後3:40)、『スポーツ中継』など、情報・スポーツ幅広い分野の番組で活躍中。趣味はスポーツ観戦・競泳。特技は水球、肩甲骨がやわらかく肩でせんべいが割れること。

■「関西アナウンス大賞」について

関西エリアの放送局12社で構成される関西アナウンス責任者会(※)によって創設された賞で、「テレビ部門」「ラジオ部門」「特別賞部門」の3つの部門で、アナウンサーの表現力や活動成果を会社の垣根を越えて評価し合う新たな取り組みです。本賞の実施を通じて、互いの優れた取り組みから刺激を得る機会を広げ、アナウンサー一人ひとりの士気向上につなげるとともに、関西全体のアナウンス技術と放送文化のさらなる発展を目的としています。

※関西アナウンス責任者会 12社

朝日放送テレビ株式会社(ABC)、株式会社ラジオ関西(CRK)、株式会社京都放送(KBS)、関西テレビ放送株式会社(KTV)、株式会社毎日放送(MBS)、日本放送協会大阪放送局(NHK)、株式会社ラジオ大阪(OBC)、株式会社サンテレビジョン(SUN)、奈良テレビ放送株式会社(TVN)、テレビ大阪株式会社(TVO)、和歌山放送株式会社(WBS)、読売テレビ放送株式会社(YTV)

■審査基準

関西アナウンス大賞の「テレビ部門」・「ラジオ部門」の審査においては、特別な基準を設けて審査基準を統一化することはせず、審査委員が、純粋にアナウンスメント技術に優れた能力を有すると判断した者を高く評価することとする。また「特別賞部門」に関しては、アナウンサーとしての人間的魅力をいかに発揮し、既存のテレビ・ラジオ放送にとらわれないユニークな活動を通じて、新しいアナウンサーの在り方を提示したり、関西に活力をもたらすなどした作品を大賞とする。

以上

本件問い合わせ先:コンプライアンス局広報部